

令和5年6月16日
国土交通省
中部地方整備局
矢作ダム管理所

6月2日からの梅雨前線による被害を 低減しました

1. 概要

6月2日からの梅雨前線に伴う出水について、矢作ダムの洪水調節効果を試算しました。

2. ダム管理の状況

6月1日

17時15分 注意体制

6月2日

8時00分 警戒体制

8時00分 洪水吐きゲートより放流を開始

13時00分 ダムへの流入量が800 m³/sを越えたため、非常体制に切り替え流入する水の一部についてダムへの貯め上げを実施

15時51分 最大流入量（1,440 m³/s）を記録

17時47分 ダムへの流入量が800 m³/sを下回ったため、警戒体制に切り替え

3. 配布先

豊田市政記者クラブ・豊田市政記者東クラブ

4. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局

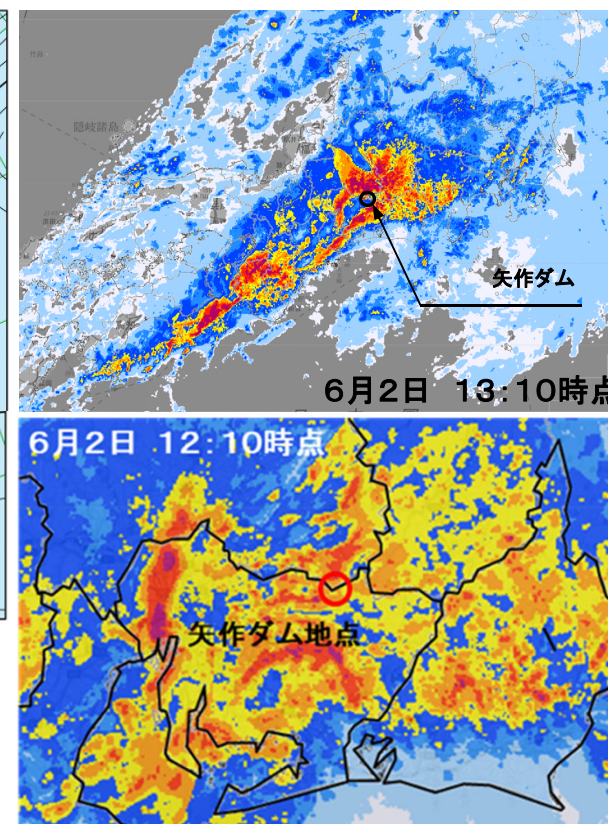
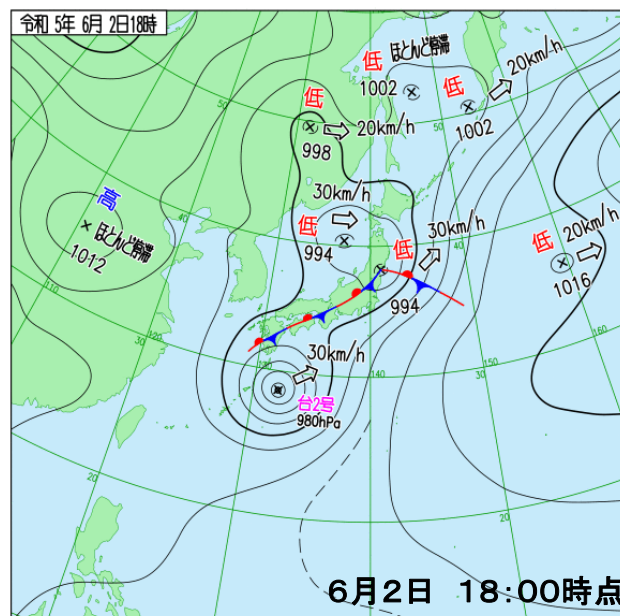
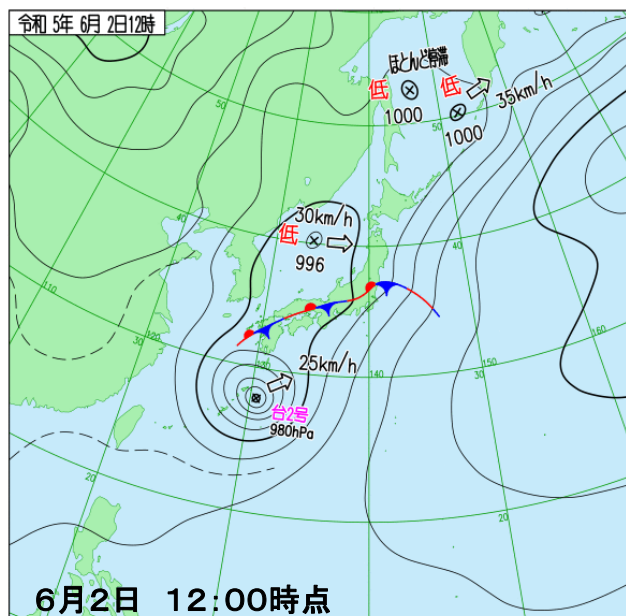
矢作ダム管理所 建設専門官 富田

電話：0565-68-2321

事務所HP：<https://www.cbr.mlit.go.jp/yahagi/index.php>

矢作ダムの洪水調節効果【速報版】

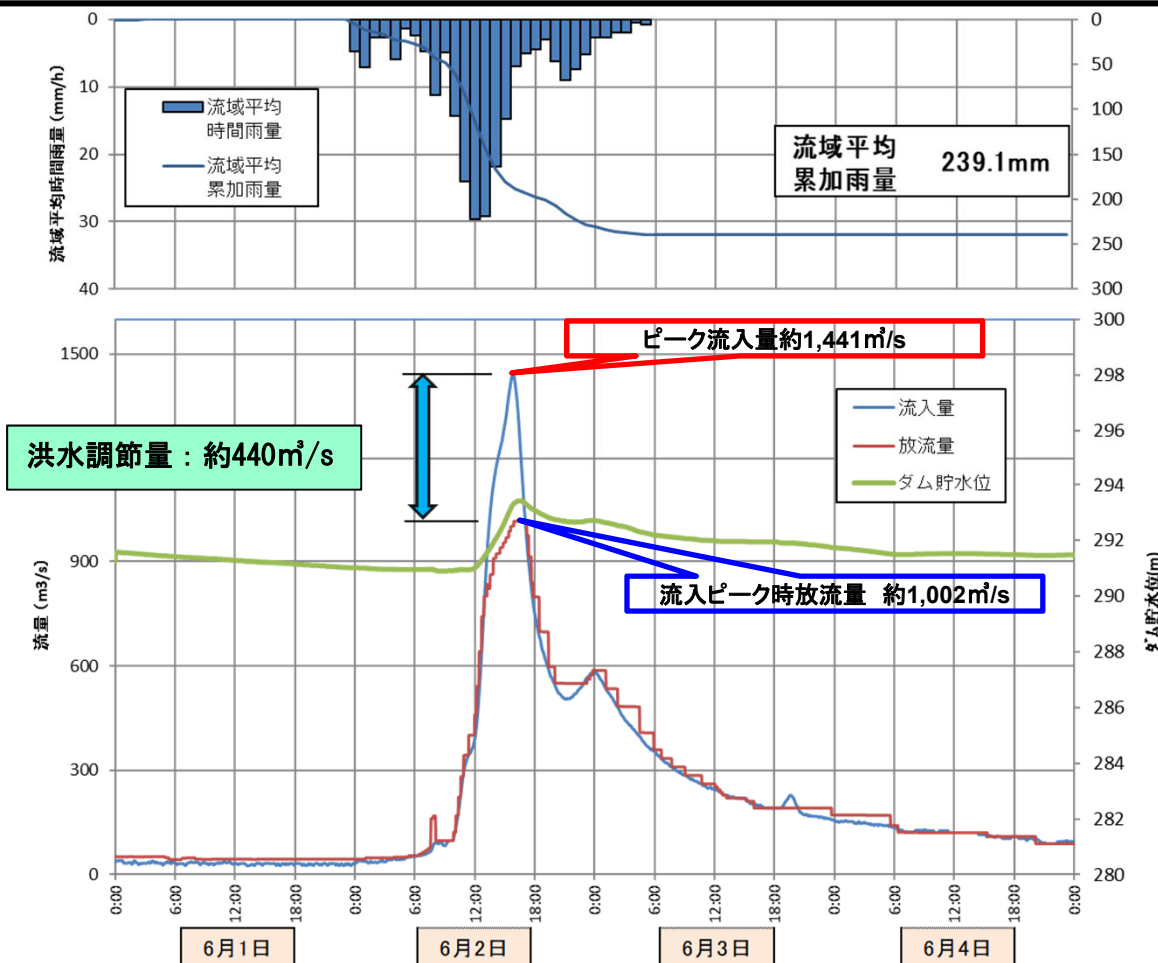
- 台風2号台風第2号及びそれに伴う前線の活発化による大雨により令和5年6月1日深夜より降り始めた降雨は、6月2日早朝より強く降り始め昼頃より猛烈な雨をもたらしました。
- 矢作ダムでは、6月1日の降り始めからの累加雨量は239mmとなり、最大時間雨量も流域平均で29.6mm/hを記録しました。
- 矢作ダムにおいて、6月2日で1,000m³/sを超える流入量は、管理開始以来最も早い年であった平成16年6月21日を19年ぶりに更新することとなりました。



注)この資料は速報として取り纏めたものであり、後日一部訂正や追加をすることがあります。

矢作ダムの洪水調節効果【速報版】

- 6月2日の降り始めからの累加雨量は流域平均で239mmを超え、最大時間雨量も流域平均で29.6mm/hを記録しました。
- 矢作ダムでは6月2日8:00より防災操作を開始しました。その後、6月2日13時00分に流入量が800m³/sを超過したため、17時45分までの間洪水調節を実施しました。



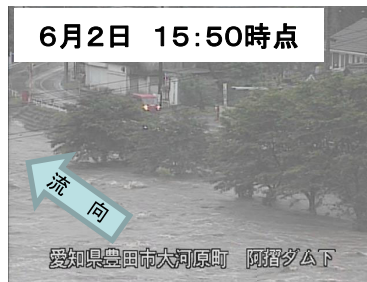
注)この資料は速報として取り纏めたものであり、後日一部訂正や追加をすることがあります。

矢作ダムの洪水調節効果【速報版】

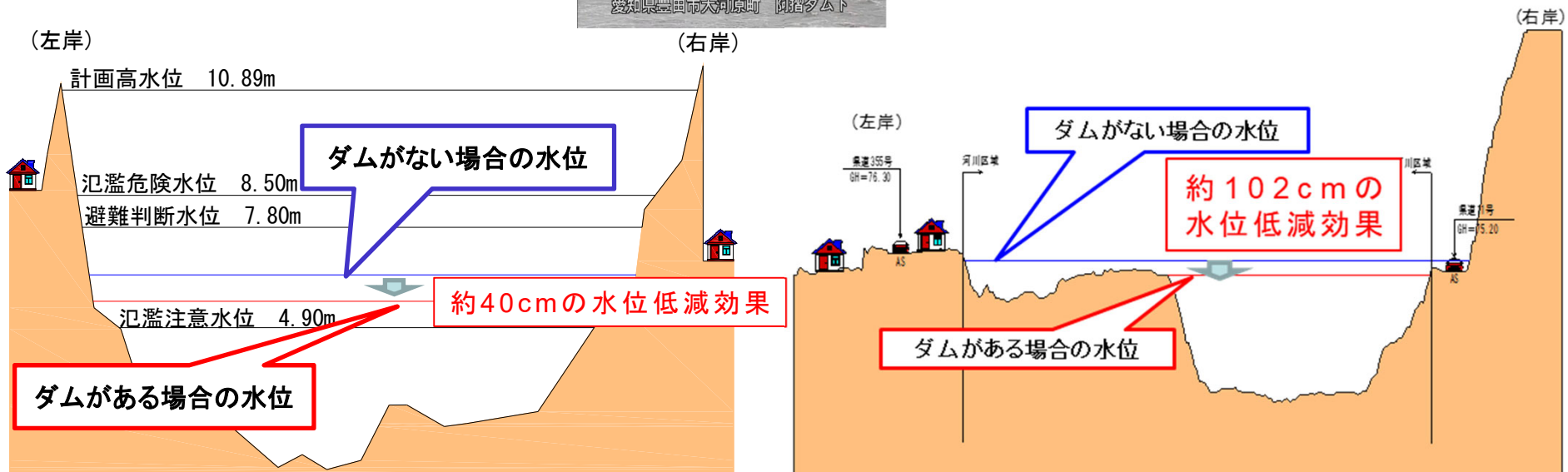


- 矢作ダム地点で最大流入量約1,440 m^3/s を観測しましたが、矢作ダムの洪水調節(防災操作)により、下流へ流れる洪水の量を**最大約440 m^3/s** を調節しました。
- これにより、ダムがない場合と比較して、**阿摺ダム下流(河口より54.2kp)地点**において、**約102cm**の水位低減効果があったものと推測されます。
- また、直轄管理区間の**岩津(河口より29.2kp)地点**ではダムがない場合と比較して**約40cm**の低減効果があったと推測されます。

矢作川29.2kp(岩津地点)横断面図



矢作川54.2kp(阿摺ダム下流)横断面図



注)この資料は速報として取り纏めたものであり、後日一部訂正や追加をすることがあります。